

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 11 日 (2022.1.11)

【公開番号】特開 2020-151182 (P2020-151182A)

【公開日】令和 2 年 9 月 24 日 (2020.9.24)

【年通号数】公開・登録公報 2020-039

【出願番号】特願 2019-52320 (P2019-52320)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 5 C

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 30 日 (2021.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示窓を有する扉と、

前記扉の裏面側の所定位置に配置される所定の基板と、

前記所定の基板を保護するカバーと、

リールテープと、前記リールテープが巻き付けられるリール基部と、前記リール基部を回転させるモータと、前記モータが固定されるモータ固定ベースと、を少なくとも含むリールが複数個並列に固定されているリールユニットと、

前記リールユニットにおいて、複数の前記リールをそれぞれ固定するための複数の係止部品と

を備え、

前記リールユニットにおいて、複数の前記リールのうち所定のリールを固定している所定の係止部品の位置は、前記所定のリールを構成する前記リールテープの頂部よりも上方の位置であり、

前記所定の係止部品の長手方向の長さ m と、前記所定のリールを構成する前記リールテープから前記リールユニットの上部内壁までの最短距離 n と、の関係が $m > n$ となっており、

前記所定の係止部品の長手方向の長さ m と、前記扉が閉鎖されている状況における前記所定のリールを構成する前記リールテープから前記カバーまでの最短距離 g と、の関係が $m > g$ となっている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

故障や破損のリスクが低い遊技機の提供が望まれている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

表示窓を有する扉と、前記扉の裏面側の所定位置に配置される所定の基板と、前記所定の基板を保護するカバーと、リールテープと、前記リールテープが巻き付けられるリール基部と、前記リール基部を回転させるモータと、前記モータが固定されるモータ固定ベースと、を少なくとも含むリールが複数個並列に固定されているリールユニットと、前記リールユニットにおいて、複数の前記リールをそれぞれ固定するための複数の係止部品とを備え、前記リールユニットにおいて、複数の前記リールのうち所定のリールを固定している所定の係止部品の位置は、前記所定のリールを構成する前記リールテープの頂部よりも上方の位置であり、前記所定の係止部品の長手方向の長さ m と、前記所定のリールを構成する前記リールテープから前記リールユニットの上部内壁までの最短距離 n と、の関係が $m > n$ となっており、前記所定の係止部品の長手方向の長さ m と、前記扉が閉鎖されている状況における前記所定のリールを構成する前記リールテープから前記カバーまでの最短距離 g と、の関係が $m > g$ となっている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本態様に係る遊技機によれば、故障や破損のリスクが低い遊技機を提供することができる。